

大山街道八王子道ウォーク

第15回 JR南橋本駅から原当麻駅（計画）

集合 JR相模線南 橋本駅改札口 10時15分

歩行距離 約9.3km

第15回 橋本駅から原当麻駅

実施日 2022（令和4）年11月16日（水）天候 快晴

参加者 折本 文雄、前北 勝司、中田 信義、中島 征雄 計4名

コース 橋本駅（9：07）～五差路交差点（9：28）～下の原交差点～旧街道（9：56）～観音苦行坂・大山道石柱（10：02）～日枝神社（10：14）～作ノ口交差点（10：19）～上溝川辺公園休憩（10：22～34）～上溝本町交差点（10：49）～鳩川（11：03）～田尻交差点・不動講供養塔他石仏石塔・大山道標柱（11：12～16）～昼食・蕎麦屋「満留賀」（11：40～55）～塩田原交差点（12：10）～天満宮（12：24～28）～無量光寺・当麻山道標（12：33～47）～当麻東原公園・当麻東原古墳（13：01～06）～（13：13）原当麻駅13：26発橋本行き。

写真は2019（令和元）年12月13日、15日と本日のものを使用。

GPS

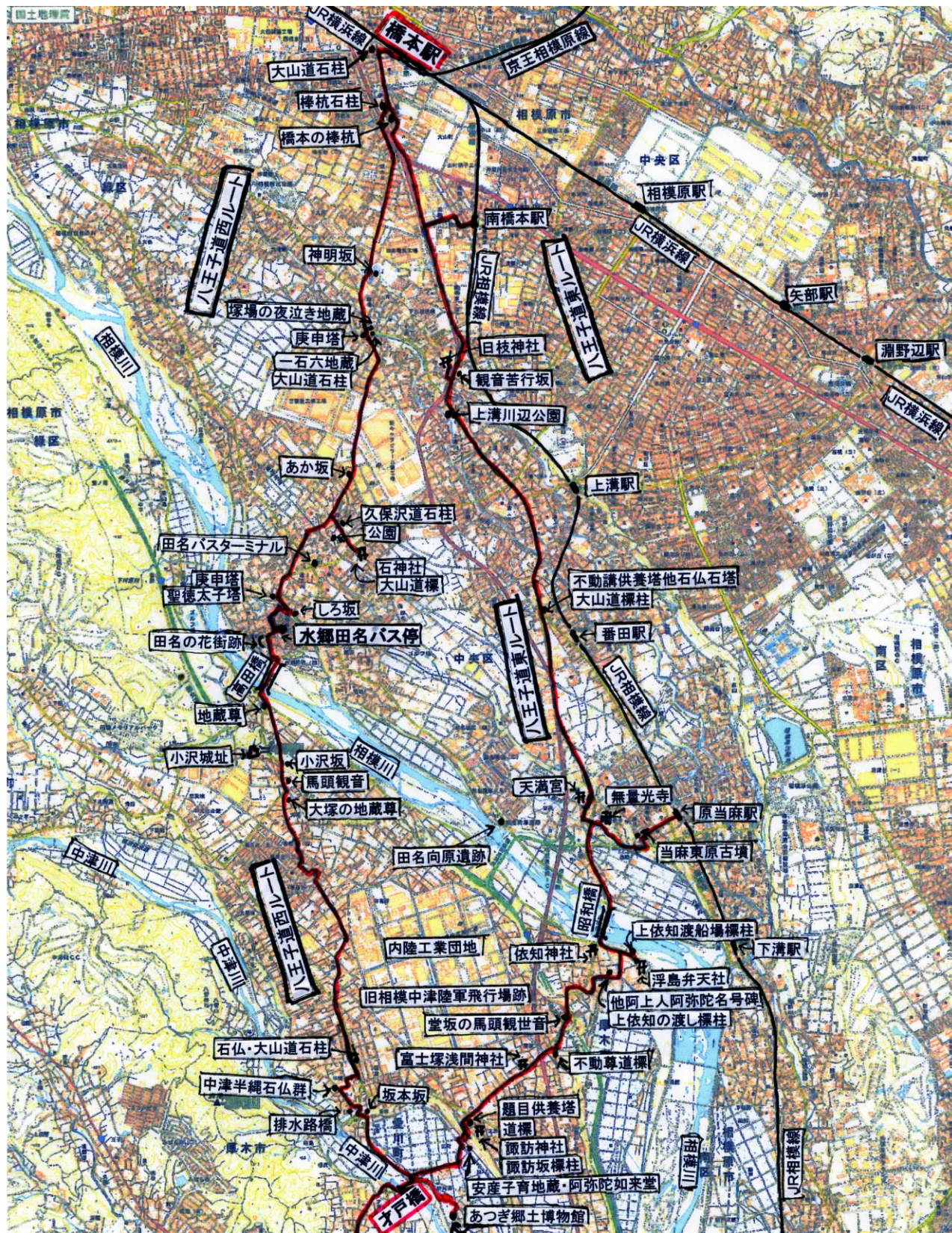
歩行距離：12.2km。 累計歩行距離：139.1km。

全体所要時間：4時間07分。移動時間：3時間20分。停止時間：47分。

移動平均速度：3.7km/h。全体平均速度：2.97km/h。



八王子道 東西ルート



大山街道八王子道は橋本五差路交差点で東西二本のコースに分かれる。西コースは歩き終わっているので、今回は西コースで歩いた区間は省いた東コースを歩きます。東コースは橋本五差路交差点から西コースと合流する才戸橋までです。

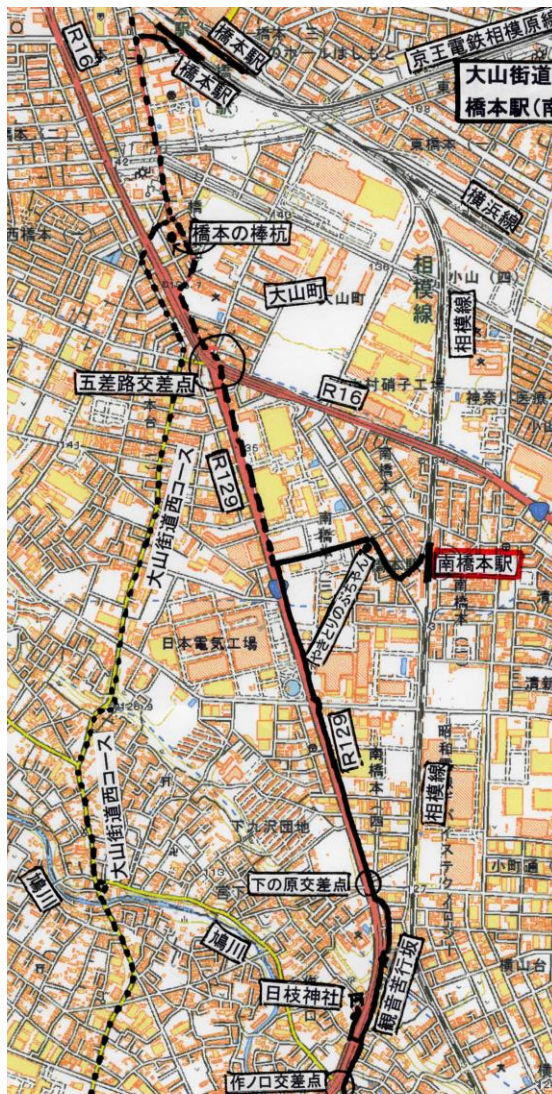




今日一日、斜め右前に大山。右側に丹沢の峰々が見える。

計画を変更し、JR橋本駅改札口に9時30分集合とした。

今回も集合時間よりかなり早く全員がそろったので、9時07分に橋本駅南口を出発。橋本駅南口を出て右の信号を左折し、次の信号交差点を左折し、第11回で通った道を進み、「橋本の棒杭」を通り、中学校のある突き当りを右折すると国道16号線にでるので左折する。(9:22)

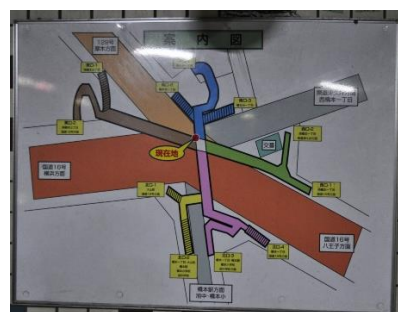


橋本駅南口



五差路交差点

五差路交差点の左側の町名は「大山町」で、大山街道と何らかの関係があるのか。



五差路交差点は地下道をくぐって国道16号線を渡って南側に出て(9:28)国道129号線を進む。

国道を両側の工場群を見ながら、只たんと進む。



約1.6～1.7 km先の「下の原交差点」を横切り、交差点を渡って30 m程で左の細い道に入る。
(9:56) この道が旧街道である。



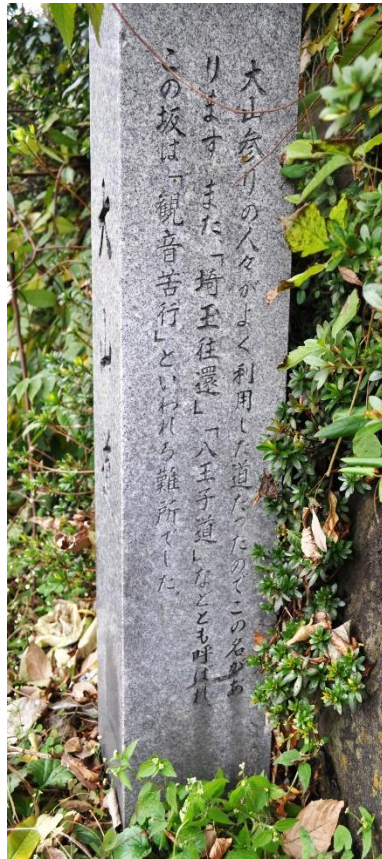
ファミリーマートの左側の右カーブの道を進み、途中右の国道へ手摺りのある戻るように降りる。国道の急な下りは「観音苦行坂」という。左側に「大山道」石柱がある。





大山道

「大山参りの人々がよく利用した道だったのでこの名があります。また、『埼玉往還』『八王子道』などとも呼ばれ、この坂は『観音苦行』といわれる難所でした」



大山道石柱から170m程の信号交差点を右折。国道をくぐり右折して国道に沿って進むと「日枝神社」がある。角に「石仏、石塔群」がある。





5体の石仏、石塔は国道を造るときに集約。剥落が激しく、詳細不明。1体は一石石地蔵。右端は不動明王か？。



国道の左側に戻り右折。次の信号交差点・作ノ口交差点で左の県道508号線を進む。



作ノ口交差点から150m程で右斜めに入る道があり、奥に「上溝川辺公園」があり、トイレもあるので休憩する。(10:22~34)



公園から1 kmで上溝本町交差点（左折500 m程にJR相模線上溝駅）で更に560 mで「ちとせ橋」交差点で鳩川を渡る。右の細い橋が旧街道。



県道を500 m程進むと県道508号線と県道46号線の分岐の田尻交差点があり、両県道の分岐点角に「不動講供養塔他石仏石塔」がある。ここには「不動講供養塔」「一石六地藏」他が祀られており、「大山道」の標柱もある。







大山道

「大山参りの人々がよく利用した道だったのでこの名があります。この不動明王の石仏はその道しるべでもありました。また、『埼玉往還』『八王子道』と呼ばれることもありました」

J R相模線番田駅前の蕎麦屋で昼食とするために、県道508号線の街道から分かれ、11:15田尻交差点で左斜めへ行く県道46号線を進む。途中道を間違っとうろろうしたが、番田駅入口交差点からなんとか駅前の蕎麦屋「満留賀」に着いて食事にあつた。(11:40~55)



番田駅



昼食場所



蕎麦屋から県道46号線に出て左折。上番田信号交差点を右折し3・400m進んで国道129号線・県道508号線に合流し左折。合流点から途中「上溝南高校前」交差点を通り約380mの「しおだ夢のかけ橋歩道橋」がある塩田原交差点で県道508号線は国道129号線と分かれる、斜め左に入る。(12:10) この道が旧街道。



国道129号線から分かれて県道508号線を650m程進むと県道の左側にバス停（天満宮入口）があり、右側に「天満宮」の看板がある。強引に県道を横切り、右斜めの道に入り110m程の右に「天満宮」がある。



天満宮 鎮座地 相模原市当麻一番地

祭神 菅原道真公

由緒 新編相模国風土記稿によれば、この天満宮は延久五年（1073）二月二十五日、妙音が建てたものとされてる。

妙音は近江国三井寺の座主であったが世をのがれて当地に来たり天神を勧請し山王権現社一宇を建立した。

御神体は菅原道真公の木座像、本地十一面観音の立像、湛慶作、古は大日堂にあったものと言われている。

別当は天満山明達院梅松寺と言い、他の一寺は明王院明行寺で明達院十三世の時分かれて二院となった。両院とも不動明王を本尊としている。

元文の頃（1736～1741）牛頭天王を相殿に祀った。（後略）



天満宮から140m程の三叉路を左折、道路右側の歩道を進み、県道508号線に架かる歩道橋を渡る。渡って右の階段を降りると、左手に上る道がある。上がると「無量光寺」の境内である。



2019（令和元）年12月13日下見時。紅葉は真っ盛り。



今回の境内



当麻山無量光寺 本堂



無量光寺

無量光寺の正式名は、「當摩山金光院無量光寺 當麻道場」といい、宗派は時宗。本尊は木造一遍上人立像。

縁起：寺伝よれば、弘長元年（1261）23歳の一遍上人はこの地を訪れ、草庵を結び、念仏修行をされました。その後、上人は二度この地を訪れ、当麻山と名付け、念仏道場の基をつくられました。三度目の逗留の後、旅立たれる際、なごりを惜しむ弟子や里人のために、自らの木像を作り安置されました。これが現在のご本尊です。一遍上人が51歳で亡くなられた後、二祖となった真教上人は、一遍上人ゆかりの当麻山を根本道場と位置づけ、嘉元元年（1303）に伽藍を建立し、無量光寺と名付けました。その後、小田原の後北条氏の外護もあり、寺門は大いに繁栄したと伝えられます。その後、戦国時代から明治時代間に、少なくとも5回の火災による全焼を経験しました。



境内の池の脇に移設された「当麻山道道標」がある。



当麻山道道標

正面『遊行元祖 一遍上人 當麻山道』

右面『文久元辛酉年八月廿二日建立十本の内』

「当麻山道」は、多摩方面から木曾で境川を渡り、龍像寺坂から上溝と下溝の境を進んで当麻に向か

う道。「道標」は文久元年（1861）に同時に10基設置されたようで、少なくとも3基現存してい

る。



鐘楼

石仏・墓石の基・基には、人々の様々な切な願いが込められている。

無量光寺ホームページ <http://www.muryoukouji.or.jp/>

本堂裏の池には三匹の亀、すべて見かけたあなたはラッキー!!

本堂に安置された一遍上人御影の像は、秋にお正月の年に一度だけ公開されます。

現代版 亀形峯地図

無量光寺を歩く

二脚の柱を持つ山門は、建築学の立場から見るともろくさいとのこと。

時を越えて、開祖一遍上人の足元を見たい境内

本堂の横、大樹の根元は一周がパワフル。どうして、ごゆっくり!!

山門わきの石仏の足元をよく見ると...

見だす、開だす、忘れたら三ヶ所を見!!

深道から境内に入る外門、この先が馬車場があるため、クルマは通り抜けできません!!

Copyright©2010 muryoukouji. All Rights Reserved



相州高座郡當麻道場龜形峯之全圖





お髪五輪塔（当山HPより）

本堂左後方に2基の五輪塔がある。これは南北朝の頃、応安元年（1368）新田義宗が南朝方につき挙兵の折、徳川家康の祖先であります世良田京亮有親、松平太郎左衛門尉親氏父子が義宗の側につき戦いをしましたが戦いに利あらず、父子共々戦乱を逃れてこの寺に入りました。そのまま八世良光上人の剃髪を受けて出家し、その髪をこの塚に埋めたことから、村人は「お髪塚（おはつづか）」と呼ぶようになった。

その後、有親は長阿彌、親氏は徳阿彌と号し修行に勤めましたが、父長阿彌はその後この寺で亡くなり、九世慈光上人によりこの塚に遺骨を納め五輪の塔を建立し供養したと伝えられます。息子の徳阿彌は西

下し三河の地において松平家を起こし徳川家に繋がったのです。

池や紅葉の木々、一遍上人像を見、本堂でお参りをし、南の参道を進む。



二脚の山門をくぐって、坂を下ると、冠木門の外門がある。



無量光寺の境内は、亀の形をした丘にあることから亀形峯と呼ばれており、外門は丁度亀の尻尾にあたる。



外門から県道52号線に出て(12:48)、側道を東へ進む。間違って早めに左折してしまい、気がついて県道に戻り、住民に「当麻東原(あずまはら)古墳」の場所を尋ね、細い急坂の「あずま坂」を上った所に「当麻東原公園」があり、公園に「当麻東原古墳」があった。(13:01)



当麻東原古墳

相模原市指定史跡名勝天然記念物 平成元年二月三日指定

当麻東原古墳は、相模川左岸に築かれた河原石を積上げた横穴式石室をもつ円墳です。墳丘の規模は直径16m、高さ約3mで、墳丘の周囲には幅2mの溝が巡っています。埋葬施設である石室の中から

装身具や武器具などの副葬品が四百点余り発見されています。

本古墳は、当麻谷原古墳群と並び古墳時代後期の七世紀に造られたもので、相模川低地に生産活動をもった集団の長の墓と考えられます。また昔から「馬塚」や「名馬塚」という名で伝承され、永く保存されていました。

高塚古墳が少ない相模原市にあって、良好な状態で残っており、かつ当地の古墳時代の姿を伝えるものとして貴重であるため相模原市指定史跡名勝天然記念物に指定されました。

平成二年三月 相模原市教育委員会

古墳からJR相模線原当麻駅まで約500m。一直線。13時13分、原当麻駅に着き、13時26分発に橋本行きに乗る。



原当麻駅通路橋より見た大山

今日は、計画歩行距離より3kmも増えてしまいました。出発場所の変更、昼食のための寄り道、2カ所程道を間違ってしまったこと等が原因。

久しぶりに長距離を歩いたので流石に疲れました。

以上